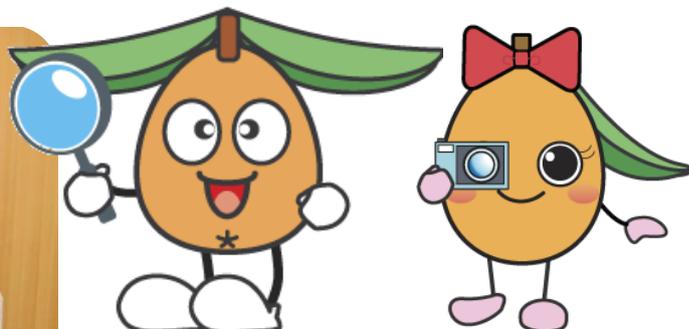


令和3年度長崎県食育推進活動表彰

4団体が表彰されました。おめでとうございます。



この賞は、社会的貢献度が高く他のモデルとなる実践的な食育活動に取り組んでいる個人及び団体に対する長崎県知事表彰で、8月19日に授賞式を行いました。

● ようほれんけいがたにんてい 幼保連携型認定こども園 えんこぼと 小嶋こども園

「健康的な生活の基本として『食を営む力』の育成に向け、共食や食に関わる体験を通して食べることの楽しさを味わう」ことを全園児の目標とし、日々の生活、遊びの中で食に関する体験を積み重ねておられます。給食を通じた共食、栄養等の学習や保護者との食事に関する情報共有のほか、調理や野菜作りの体験を行うなど、家庭や地域農家と連携した食育活動を推進されています。

● いきしりつわたらしょうがっこう 壱岐市立渡良小学校

「一心三気（心・やる気・元気・根気）を身に付けた児童の育成」という目標を学校・地域・家庭で共有し、給食や授業等の日々の学校教育を通じた食育のほか、壱岐市健康増進課やヘルスマイト（食生活改善推進員）を講師に招いての「朝食摂取100%」を目指した親子調理実習、地域住民と一緒に農作物の栽培・収穫祭を行うなど、学校が中心となって地域総ぐるみでの食育活動に取り組まれています。

● はさみちょうふじんかい 波佐見町婦人会

郷土料理の継承に取り組みながら、地域で深刻な農業被害を及ぼしている猪を活用したレシピを改良するなど、捕獲された猪の有効活用及び、地域の課題解決に取り組まれています。また、波佐見町で開催されるイベントや体験学習で料理の提供や紹介を行うなど、食を通して地域の賑わいづくりに貢献されています。

● いさはやしれんごうふじんかい 諫早市連合婦人会 にしいははやちくふじんかい 西諫早地区婦人会

小学校において郷土菓子である「黒おこし」の調理実習を行っており、食生活の洋風化が進むなか、児童に郷土菓子を通して郷土の食文化に親しむ機会を与えておられます。また、「おこし」は余った米飯を使い作ることができる菓子であり、食べ物を大切にする意識の醸成に貢献されています。